

平成17年度当初予算 施策別概要

234 技術の高度化の促進

(主担当部局：総合企画局)

- 23401 新分野への展開を図る研究開発の推進 (総合企画局)
- 23402 地域産業の高度化のための技術開発の推進 (総合企画局)
- 23403 技術人材の育成・確保 (総合企画局)
- 23404 公設試験研究機関の充実 (総合企画局)

< 施策の目的 >

(対象) 企業と公設試験研究機関が

(意図) 地域の産業を牽引する新技術や基盤的技術の高度化を進めている

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
共同研究による特許 等出願件数 (件)	目標値	-	4 4	4 6	4 8
	実績値	4 1	4 5	-	-

県内の企業・大学と公設試験研究機関が、共同で発明した特許、実用新案、意匠の出願件数 (累計)

< 平成17年度に残っている課題 >

本県中小企業の競争力を維持・発展させるため、燃料電池など先端的な新産業分野や市場ニーズの拡がりに対応する環境・健康福祉機器などの分野への取組のための技術開発が求められています。

本県の地域産業が国内外の競争に打ち勝つためには、更なる高付加価値化を推進する技術開発、潜在能力のある伝統産業を基盤に先端技術と融合した新たな技術展開や循環型社会の形成に貢献する技術開発等が課題となっています。

新分野への展開、地域産業の高度化のため、産業企業ニーズに応じた技術支援、技術人材育成が望まれています。

県内産業に貢献できる研究成果を生み出すため、急速な技術の進歩に対応して公設試験研究機関の整備を進めていくことも重要です。

< 平成17年度の施策の取組方向 >

科学技術振興センターが持つシーズを踏まえ、次代を担う燃料電池の研究開発をさらに進めるとともに、ダニアレルギーを低減化する研究開発に取り組みます。

地域産業の発展のため、高付加価値型商品の開発や品質向上を目指した技術開発や技術支援に取り組みます。

企業ニーズに応じた技術支援、技術人材の育成に取り組みます。

畜産研究部の研究施設を計画的に整備します。

<主な事業>

(重) 積層組立容易な固体高分子型燃料電池用セパレータの開発事業費

【基本事業名：23401 新分野への展開を図る研究開発の推進】

当初予算額： 14,663千円 9,251千円

事業概要：燃料電池用セパレータの性能評価試験の検討結果に基づき、材料設計の最適化、流路設計の最適化および長期安定性等の研究を行い、商品化へ向けた取組を進めます。

(新) ダニアレルゲン低減化物質開発研究費

【基本事業名：23401 新分野への展開を図る研究開発の推進】

当初予算額： - 千円 2,542千円

事業概要：国民の3人に1人が持つといわれているアレルギーの主原因物質であるダニアレルゲンについて、その低減化研究を行います。この研究により、新分野の展開につながる技術を県内企業へ普及し、産業振興を図ります。

有害化学物質の放散を抑制した住環境形成木質材料の開発費

【基本事業名：23402 地域産業の高度化のための技術開発の推進】

当初予算額： 6,995千円 4,750千円

事業概要：シックハウス関連規制に対応し、快適性を付加する加工・利用技術を開発し、県内産材の競争力を高め、高付加価値の加工材を開発します。

(一部新) 商品開発フォローアップ事業費

【基本事業名：23402 地域産業の高度化のための技術開発の推進】

当初予算額： 5,255千円 2,050千円

事業概要：平成16年度までの「商品開発推進事業」の成果（ブランド名：ぼれぼれ屋）をさらに発展させるため、フードコーディネーター等専門家による参加体験型展示会などを開催し、市場開拓企画技術の強化を支援します。

ものづくり技術者育成事業費【基本事業名：23403 技術人材の育成・確保】

当初予算額： 1,072千円 1,225千円

事業概要：本県の地場産業である鋳造業界、陶磁器業界の製品の高度化、生産技術の高度化、商品デザイン企画開発を進めるための技術人材を育成する講座を開催します。

畜産研究部施設整備事業費【基本事業名：23404 公設試験研究機関の充実】

当初予算額： 98,654千円 612,151千円

事業概要：老朽化した畜産研究部の畜舎等施設を、研究業務の効率化を目指し整備するとともに、地域に親しまれ、愛される施設となるよう周辺環境に配慮した施設とします。平成17年度は、大家畜舎の実施設設計、建築等を行います。